

川崎町汚水処理構想

平成 27 年 12 月

福岡県川崎町

汚水処理基本構想の策定

1. はじめに

川崎町は福岡県中央部より東寄りに位置し、東西 4.9 km、南北 12.6 km で、総面積 36.14 km² の南北に細長い地形である。

北は田川市、東は大任町、添田町、南は嘉麻市（旧山田市）に接しており、周囲を山に囲まれた田川盆地の中にあつて、気候は九州北部の内陸型で気温は年平均 15.6℃、年間降水量 1,641.5 mm となつており風水害も少なく、天然の恩恵に浴している。

町の中心部は、JR九州豊前川崎駅を中心に東西約 1 km にわたり商店街が続き、これを取りまく形で住宅街が形成されている。また、近年池尻地区、三井地区に新しい住宅街が形成されている。

北部は池尻、森安地区を中心として公営住宅、集落が混在し、同地区を貫通する国道 322 号線及び県道 95 号添田赤池線の沿線には、スーパーや飲食業等の進出が目立ち、国道 322 号線バイパス沿いには企業も多く進出し商工業地域として発展している。

南部は県道田川桑野線沿いに住宅地と農地が散在し、中元寺川両域には豊かな穀倉地帯と山間部に集落が点在する農村地帯となっている。

行政区域内人口は、平成 17 年 3 月末では 20,908 人であったが、平成 27 年 3 月末現在 18,102 人となつており、この 10 年間の人口推移を見ると大幅な減少傾向にある。

現在、本町の生活雑排水は下水道が未整備のため、大半が河川、農業用水路等に直接放流されており水質汚濁の要因となっている。

本町の各河川が合流する中元寺川は田川市を経て彦山川、遠賀川へと続いており、下流域の市町村では水源の多くをこの河川に依存していることから、河川の水質を保全する責務は重大である。

また、町民の下水道に対するニーズは急速に高まつており、快適な生活をする上で下水道は欠かせない施設となっている。

しかしながら、今回の汚水処理構想の策定に於いては、昨今の状況変化、特に財政状況の連結決算化、また、遠賀川田川地区流域の公共下水処理事業計画の立ち消え等を考慮し、より現実的な汚水処理構想を策定するものとする。

2. 処理方法の設定

本町に係る全県域汚水適正処理構想は平成 5 年度に策定され、公共下水道 1 処理区、農業集落排水事業 2 処理区、その他（個別処理）と計画されているが、経済状況を含め諸般の事情により、事業化にはいたらず現在に至っている。平成 14 年度の見直しでは公共下水道地域を設定し、事業計画が盛り込まれていたが、平成 20 年度時点で全面撤回となった。また農業集落排水についても地理的条件や財政状況から公共下水道と同様に整備しないこととした。

今回の見直しでは、現実的な汚水処理構想を検討し、当町の財政状況、田川地区近隣の計画状況を勘案し、当町の汚水処理は合併処理浄化槽設置整備事業で行うものとする。

【合併処理浄化槽設置整備事業（個人設置型）】

当町において、汚水処理事業として唯一実施中の事業がこの合併処理設置整備事業（個人設置型）である。

この事業は、一つの工事物件に対する町の負担金額が13.4%程度（国の工事標準額による。住民60%、国、県がそれぞれ13.3%）で、費用抑制の点において長所である。

しかしその反面、住民側からみれば負担額が多く、導入の妨げとなっており、導入計画も住民まかせとなり、計画通りに設置が進まないといった短所もある。

その対策として、合併処理浄化槽設置の際の補助金交付、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の補助金交付の住民周知を行っていく。

以上の点などを勘案したうえで、財政再建中の当町においては、この個人設置型を実施するものとする。

3. 計画人口

本町の人口は、昭和35年には38,974人であったが、石炭産業の衰退とともに昭和45年には23,190人まで急激に減少した。その後は22,000人台を保ってきたが、減少し続け平成27年3月末には18,102人となっている。

過去10年間の人口と世帯数の推移（各年度末）

年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
人口	20,908	20,688	20,332	19,959	19,642	19,377	19,070	18,790	18,498	18,102
世帯数	9,604	9,624	9,619	9,569	9,513	9,466	9,389	9,360	9,293	9,158

年平均で人口は280人の減少、世帯数は44世帯の減少となっている。

将来行政人口の予測は、国立社会保障・人口問題研究所調査資料により、基準年度における人口は下表のとおりとする。

川崎町の将来行政人口

	現況人口(H25)	平成37年度	平成47年度	平成62年度	備考
川崎町	18,498人	14,151人	11,679人	8,517人	国立社会保障・人口問題研究所調査資料による。

4. 整備手法の設定

整備手法の設定

	面積	計画人口 (H47)	計画人口 (H62)	整備手法	選定理由
浄化槽処理区域	36.14 km ²	3,016 人	3016 人	町営住宅 (浄化槽)	短期間で効率的な 整備が可能のため (町営住宅につい ては、一部整備済)
		4,046 人	5,501 人	浄化槽設置整 備事業	

5. 計画汚水量の設定

5-1. 汚水量原単位の設定

汚水量は上水道の普及率が高ければ、一般的に給水量がそのまま汚水量となる。本町は水道普及率が約96%と高いため、給水量=汚水量として給水量実績より将来汚水量を予測し、計画汚水量を設定した。

また、営業汚水量は町の実績より、生活汚水量の7%を見込むものとし、地下水量は実績値等を用いることが困難なため、生活汚水量と営業汚水量の日最大の和に10%を見込むものとした。

よって、本町の汚水量原単位を下記のように設定した。

表1 汚水量原単位

(単位：リットル/人日)

	日平均	日最大	時間最大
生活	222.3	369.4	488.3
営業	15.6	25.8	34.2
地下水	39.5	39.5	39.5
計	277.4	434.7	562.0

変動率 (日平均：日最大：時間最大=0.6：1.0：1.3)

5-2 計画汚水量の設定

	汚水量原単位 (ℓ/人日)	計画人口 (人) H47 年度	計画人口 (人) H62 年度	計画汚水量 (m ³ /日) H47 年度	計画汚水量 (m ³ /日) H62 年度
日平均汚水量	277.4	7,062	8,517	1,959	2,363
日最大汚水量	434.7			3,070	3,702
時間最大汚水量	562.0			3,969	4,787

6. 段階的整備方針の設定

次の手順により、段階的整備スケジュールの立案を行い、段階的整備方針を立案した。

- 川崎町の汚水処理人口普及率は、平成 25 年度末時点において 22%ほどである。
- 概算事業費は、整備予定基数を踏まえて推定した。
- 浄化槽設置整備事業は平成 37 年度まで年間 30 基、平成 38 年度以降を年間 40 基で整備予定。
- 町の財政状況を勘案し、個人型合併浄化槽に係る 1 年当たりの住民負担額を除く事業費を平成 37 年度までが 11,586 千円、平成 38 年度以降を 15,666 千円とし、浄化槽整備事業の整備スケジュールを立案した。
- 町の単年度当たりの負担額が、平成 37 年度までは 3,982 千円、平成 38 年度以降 5,342 千円と算定され、町の財政状況に対し、現実的であると判断した。
- 尚、個人設置型合併浄化槽一基当たりの処理人数は平成 25 年度の人口と戸数より 2.5 人程度とした。

7. その他

- 経済性による処理区域判定後の区域の見直しの整理状況（各箇所における理由等）について今回の構想見直しにより、川崎町内全域が「合併処理浄化槽」による整備を行う構想となった。本構想において（公共下水道事業、農業集落排水事業）は、町の厳しい財政事情を勘案し、集合処理ではなく個別処理（合併浄化槽）による汚水処理を推進していくものとする。
また、浄化槽設置整備事業を効率的に実施していく上で、水質環境について住民の理解を得ることが重要であるため、チラシ等の配布や広報誌、ホームページへの掲載などで周知を行い、理解を得る必要がある。
- 事業間（市町村間含む）連携について
個別処理のみで整備を行っていくこととしており、事業間連携はない。

- ・概算事業の算定における改築更新費用の整理について
個別処理のみで整備を行っていくこととしており、本項目は該当しない。

- ・ベンチマーク（指標）の設定と目標値
平成 47 年度末時点での汚水処理人口普及率及び浄化槽普及率の目標値を 60.5%とし、平成 62 年度末までの浄化槽整備区域内の浄化槽普及率普及率、汚水処理人口普及率 100%を目標値とする。

- ・今後約 10 年概成に向けた整備を行うための整備単価等の整理
個別処理のみで整備を行っていくこととしており、本項目は該当しない。

- ・早期整備・低コスト手法の検討及び工法採用によるコスト縮減額
早期整備のために、合併処理浄化槽への転換啓発、及び単独処理浄化槽からの転換補助を行っていく。

- ・住民の意向の把握への対応について（方針及びスケジュールなど）
川崎町汚水処理構想案を平成 28 年 1 月頃にホームページへ掲載し、周知を行い、環境保全課を窓口として住民意見を受け付ける。

- ・見える化（公表）への対応について（方針及びスケジュールなど）
構想の目標に対する進捗状況について、ホームページにおいて定期的に公表する。

市町村調書

(市町村名： 川崎町)

市町村記入欄 (環境保全課)

浄化槽・ゴミプラ	環境保全課環境保全係
集落排水	
下水道	

県記入欄

	指示事項	(/ 初回) 確認日・担当者名	(/ 修正) 確認日・担当者名
市町村支援課			
廃棄物対策課			
環境保全課			
農村森林整備課			
水産振興課			
下水道課			

調書1：処理別計画概要（長期目標：平成47年度）

（市町村名： 川崎町 ）

本構想上の 地区形態	処理 形態	処理区 番号	処理区名	整備面積 (ha)	計画処理 人口 (人)	計画汚水量 (m³/日)		建設事業費 (累計値：百万円)										維持管理費 (H47単年：百万円/年)					整備手法								
						日平均	日最大	管渠		ポンプ場		処理場		浄化槽		計		管渠	ポンプ場	処理場	浄化槽	計									
								新設	改築	新設	改築	新設	改築	新設	改築	新設	改築							計							
集合処理区域	集 合																														
				0.0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
個別	別	浄化槽(個人設置)			-											0.0		0.0							0.0				-		
		単独浄化槽、汲み取り等			-											-		-							-			-		-	
		集合処理区域計	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-		
個別	別	浄化槽市町村整備推進事業			-		3,016										0.0		0.0						0.0			-			
		個別排水施設整備事業			-												0.0		0.0						0.0			-			
		浄化槽(個人設置)			-		4,046									1,246.4		1,246.4		1,246.4					0.0			-			
		単独浄化槽、汲み取り等			-		4,617																					-			
		個別処理区域計			-		11,679									1,246.4		1,246.4		1,246.4					0.0		0.0		-		
合計	計	集合処理	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-			
		個別処理	3,614.0	7,062	-									1,246.4		1,246.4		1,246.4						0.0		0.0		-			
		未処理	0.0	4,617	-																							-			
		計	3,614.0	11,679	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,246.4		1,246.4		1,246.4		1,246.4		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	-		

注) 1.記入要領は、福岡県汚水処理構想マニュアル「12. 計画概要の整理(調書等記入)」を参照する。

2.表中の太線囲み内すべてに記入する。(記入不要の数値記入欄は"0"を記入する)ただし、集合処理区域-集合の記入欄については、必要箇所のみ記入すること。

3.整備手法欄は、次のように記入する。

公共下水道→公共、特定環境保全公共下水道→特環公共、農業集落排水=農集排、漁業集落排水=漁集排、小規模集合排水処理施設事業→小規模排水、コミュニティ・プラント→コミプラ

調書1：処理区別計画概要(完成年度：平成62年度)

(市町村名： 川崎町)

本構想上の地区形態	処理形態	処理区番号	処理区名	整備面積(ha)	計画処理人口(人)	計画汚水量(m ³ /日)		建設事業費(累計値：百万円)										維持管理費(H47単年：百万円/年)					整備手法			
						日平均	日最大	管渠		ポンプ場		処理場		浄化槽		計		管渠	ポンプ場	処理場	浄化槽	計				
								新設	改築	新設	改築	新設	改築	新設	改築	新設	改築							計		
集合処理区域	集合														—	—	0.0	0.0	0.0					—	0.0	
															—	—	0.0	0.0	0.0					—	0.0	
															—	—	0.0	0.0	0.0					—	0.0	
															—	—	0.0	0.0	0.0					—	0.0	
															—	—	0.0	0.0	0.0					—	0.0	
															—	—	0.0	0.0	0.0					—	0.0	
															—	—	0.0	0.0	0.0					—	0.0	
															—	—	0.0	0.0	0.0					—	0.0	
															—	—	0.0	0.0	0.0					—	0.0	
														—	—	0.0	0.0	0.0					—	0.0		
			(小計)	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
個別	浄化槽(個人設置)			—		—	—	—	—	—	—	—	—		—	0.0	—	0.0	—	—	—	—		0.0	—	
	単独浄化槽、汲み取り等			—		—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	
	集合処理区域計			0.0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	
個別	浄化槽市町村整備推進事業			—	3,016	—	—	—	—	—	—	—	—		—	0.0	—	0.0	—	—	—	—		0.0	—	
	個別排水施設整備事業			—		—	—	—	—	—	—	—	—		—	0.0	—	0.0	—	—	—	—		0.0	—	
	浄化槽(個人設置)			—	5,501	—	—	—	—	—	—	—	1,834.4	—	1,834.4	—	1,834.4	—	—	—	—	—		0.0	—	
	単独浄化槽、汲み取り等			—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	
			個別処理区域計	—	8,517	—	—	—	—	—	—	—	1,834.4	—	1,834.4	—	1,834.4	—	—	—	—	—	0.0	0.0	—	—
合計	集合処理			0.0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	
	個別処理			3,614.0	8,517	—	—	—	—	—	—	—	1,834.4	—	1,834.4	—	1,834.4	—	—	—	—	—	0.0	0.0	—	
	未処理			0.0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計			3,614.0	8,517	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,834.4	—	1,834.4	0.0	1,834.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	

注) 1.記入要領は、福岡県汚水処理構想マニュアル「12. 計画概要の整理(調書等記入)」を参照する。
2.表中の太線囲み内すべてに記入する。(記入不要の数値記入欄は"0"を記入する)ただし、集合処理区域-集合の記入欄については、必要箇所のみ記入すること。
3.整備手法欄は、次のように記入する。
公共下水道→公共、特定環境保全公共下水道→特環公共、農業集落排水=農集排、漁業集落排水=漁集排、小規模集合排水処理施設事業→小規模排水、コミュニティプラント→コンプラ

調書2：処理区別段階的整備計画

(市町村名：川崎町)

本構想上の地区形態	処理形態	処理区番号	処理区名	整備面積(累計値:ha)					計画処理人口(累計値:人)					建設事業費(累計値:百万円)								事業着手(見込)年度	整備完了(見込)年度	整備手法			
				H25(現況)	H37	H47	H62(概成)	H62(完了)	H25(現況)	H37	H47	H62(概成)	H62(完成)	H25(現況)		H37		H47		H62(概成)					H62(完成)		
														新設	改築	新設	改築	新設	改築	新設	改築				新設	改築	
集合処理区域	集合																										
				(小計)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
個別	個別		浄化槽(個人設置)	-	-	-	-	-																			
			単独浄化槽、汲み取り等	-	-	-	-	-																			
			集合処理区域計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
				-	-	-	-	-																			
個別処理区域	個別		浄化槽市町村整備推進事業	-	-	-	-	-	1,956	2,516	3,016	3,016	3,016														
			個別排水施設整備事業	-	-	-	-	-																			
			浄化槽(個人設置)	-	-	-	-	-	2,146	3,046	4,046	5,501	5,501	507.6	-	854.4	-	1,246.4	-	1,834.4	-	1,834.4	-				
			単独浄化槽、汲み取り等	-	-	-	-	-	14,396	8,589	4,617	0	0														
			個別処理区域計	-	-	-	-	-	18,498	14,151	11,679	8,517	8,517	507.6	-	854.4	-	1,246.4	-	1,834.4	-	1,834.4	-				
合計	合計		集合処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
			個別処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,102	5,562	7,062	8,517	8,517	507.6	0.0	854.4	0.0	1,246.4	0.0	1,834.4	0.0	1,834.4	0.0				
			未処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14,396	8,589	4,617	0	0														
			計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18,498	14,151	11,679	8,517	8,517	507.6	0.0	854.4	0.0	1,246.4	0.0	1,834.4	0.0	1,834.4	0.0				

注) 1.記入要領は、福岡県汚水処理構想マニュアル「12. 計画概要の整理(調書記入)」を参照する。
 2.上表中の値は、各年度末での累計値とする。
 3.計画処理人口欄は水洗化を考慮し記入する。
 4.整備手法欄は、次のように記入する。
 公共下水道→公共、特定環境保全公共下水道→特環公共、農業集落排水=農集排、漁業集落排水=漁集排、小規模集合排水処理施設事業→小規模排水、コミュニティ・プラント→コミプラ

財源内訳書（浄化槽分）

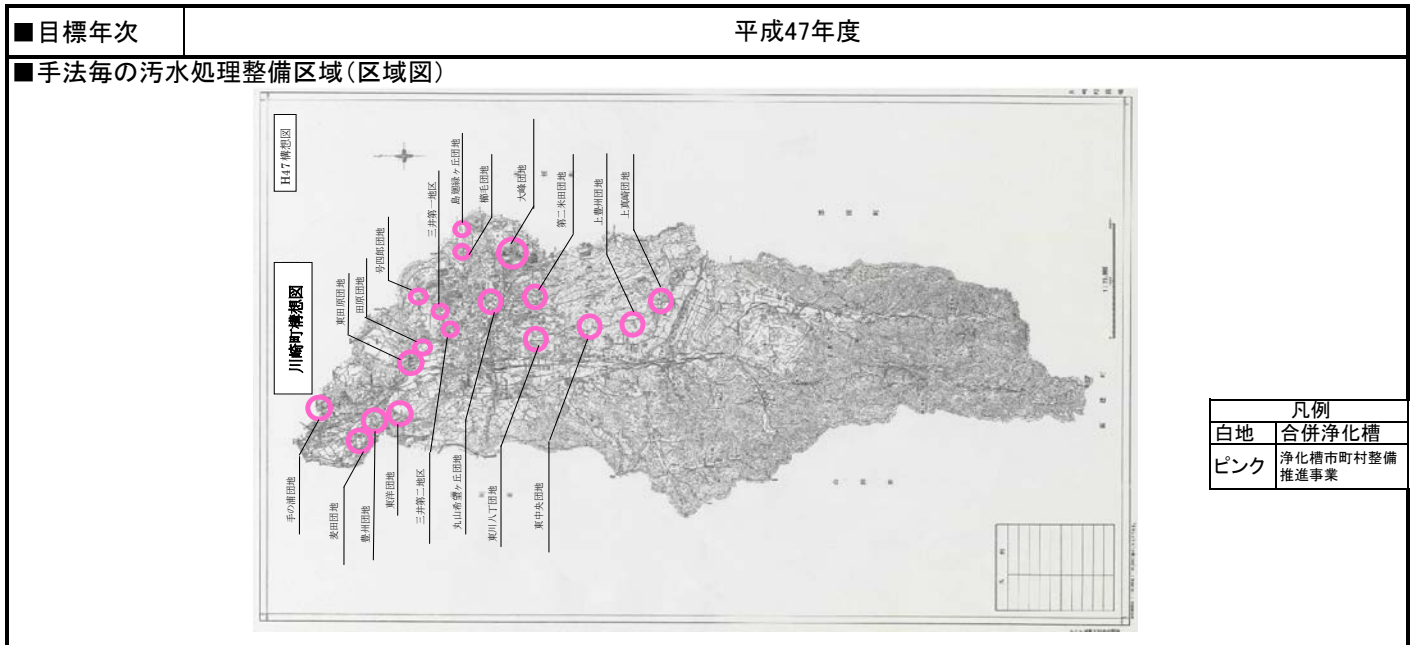
（市町村名： 川崎町 ）
 （処理区名： 川崎町 ）

年度別事業費および財源内訳

年度	建設事業費の内訳（百万円）						建設事業費財源内訳（百万円）										合計			
	集合処理区域内		個別処理区域内		合計 (単年)	合計 (累計)	浄化槽（個人設置）					小計	浄化槽市町村整備推進事業					小計	合計	
	浄化槽 (個人設置)	浄化槽市町村 整備推進事業	個別排水施設 整備事業	浄化槽 (個人設置)			国費	県費	起債	市町村費	個人 負担		国費	県費	起債	市町村費				うち 住民 負担
H25まで (累計)				507.6	507.6	507.6	71.0	71.0		71.0	294.6	507.6							0.0	507.6
H26				28.9	28.9	536.5	3.8	3.8		4.0	17.3	28.9							0.0	28.9
H27				28.9	28.9	565.4	3.8	3.8		4.0	17.3	28.9							0.0	28.9
H28				28.9	28.9	594.3	3.8	3.8		4.0	17.3	28.9							0.0	28.9
H29				28.9	28.9	623.2	3.8	3.8		4.0	17.3	28.9							0.0	28.9
H30				28.9	28.9	652.1	3.8	3.8		4.0	17.3	28.9							0.0	28.9
H31				28.9	28.9	681.0	3.8	3.8		4.0	17.3	28.9							0.0	28.9
H32				28.9	28.9	709.9	3.8	3.8		4.0	17.3	28.9							0.0	28.9
H33				28.9	28.9	738.8	3.8	3.8		4.0	17.3	28.9							0.0	28.9
H34				28.9	28.9	767.7	3.8	3.8		4.0	17.3	28.9							0.0	28.9
H35				28.9	28.9	796.6	3.8	3.8		4.0	17.3	28.9							0.0	28.9
H36				28.9	28.9	825.5	3.8	3.8		4.0	17.3	28.9							0.0	28.9
H37				28.9	28.9	854.4	3.8	3.8		4.0	17.3	28.9							0.0	28.9
H38				39.2	39.2	893.6	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H39				39.2	39.2	932.8	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H40				39.2	39.2	972.0	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H41				39.2	39.2	1,011.2	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H42				39.2	39.2	1,050.4	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H43				39.2	39.2	1,089.6	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H44				39.2	39.2	1,128.8	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H45				39.2	39.2	1,168.0	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H46				39.2	39.2	1,207.2	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H47				39.2	39.2	1,246.4	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H48				39.2	39.2	1,285.6	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H49				39.2	39.2	1,324.8	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H50				39.2	39.2	1,364.0	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H51				39.2	39.2	1,403.2	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H52				39.2	39.2	1,442.4	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H53				39.2	39.2	1,481.6	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H54				39.2	39.2	1,520.8	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H55				39.2	39.2	1,560.0	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H56				39.2	39.2	1,599.2	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H57				39.2	39.2	1,638.4	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H58				39.2	39.2	1,677.6	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H59				39.2	39.2	1,716.8	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H60				39.2	39.2	1,756.0	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H61				39.2	39.2	1,795.2	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
H62				39.2	39.2	1,834.4	5.2	5.2		5.3	23.5	39.2							0.0	39.2
合計	0.0	0.0	0.0	1,834.4	1,834.4	1,834.4	246.6	246.6	0.0	251.5	1,089.7	1,834.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,834.4

(2)市町村が策定する長期的(20~30年)な整備・運営管理内容

【川崎町】



■整備計画

①課題の整理

課題1	川崎町の汚水処理普及率が県内平均を大きく下回る
課題2	高齢化や経済的な要因により合併処理浄化槽の普及が進みにくい
課題3	

②スケジュール

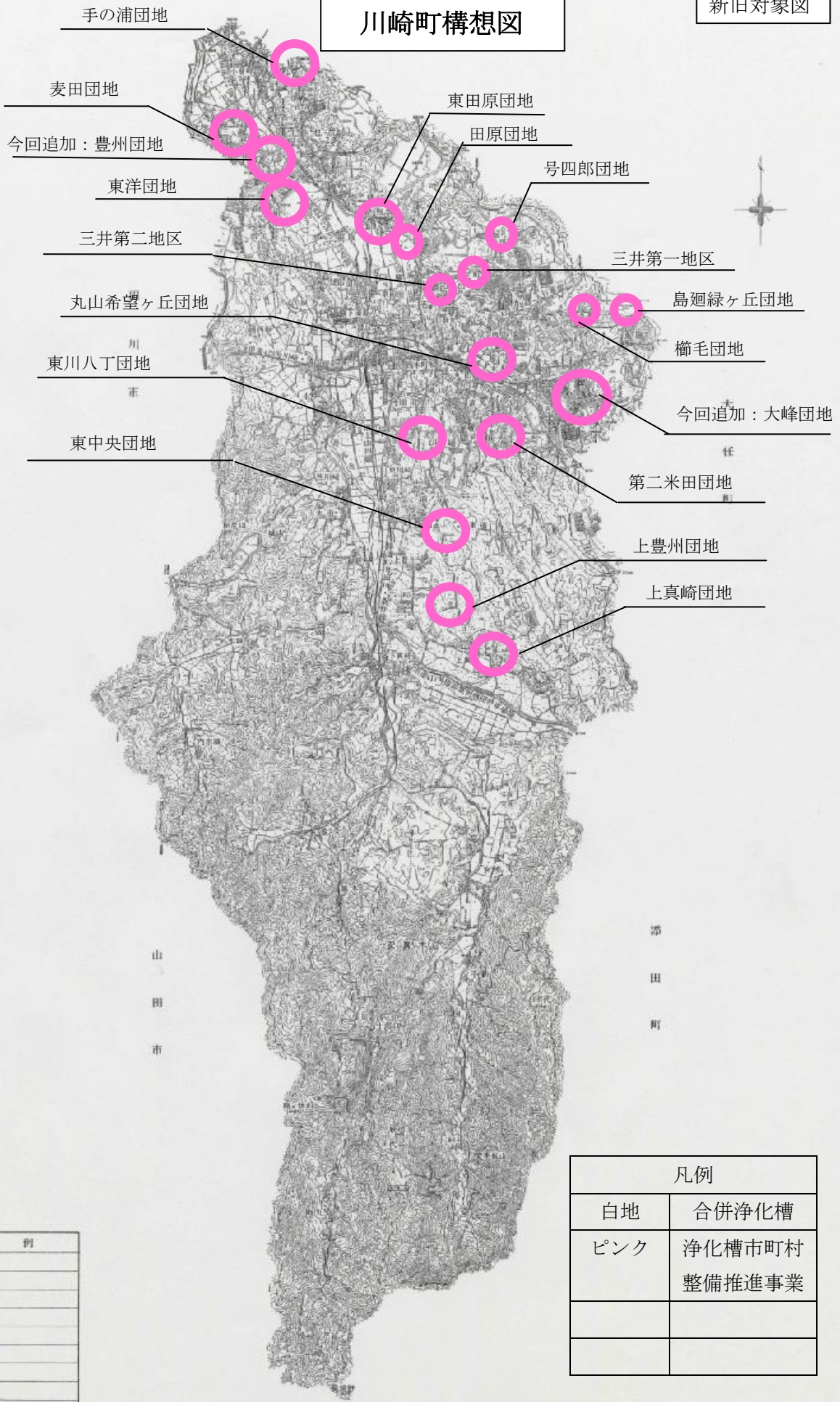
計画区分	事業	事業内容	5	10	15	20
			平成32年度	平成37年度	平成42年度	平成47年度
実行メニュー (運営管理)	共通	浄化槽設置整備事業の実施				
		合併処理浄化槽への転換啓発				
		単独処理浄化槽からの転換補助				

③目標値及び概算事業費等

整備手法	計画処理人口(人)	公共 下水道	農業 集落排水 施設	漁業 集落排水 施設	小規模 集合排水 施設	コンプラ	浄化槽		その他 (合計)	備考	
							個人 設置	市町村 設置			
	4046						3016		7062		
	整備面積(集合処理分)(ha)								0.0		
計画汚水量(m3/日)	日平均						1122	837	1959.0		
計画汚泥量(t/日)	発生汚泥量(日平均)						6	4.5	10.5		
	搬出汚泥量(日平均)						6	4.5	10.5	汚泥処理後の汚泥量 (搬出が無い場合は汚泥処理後)	
汚泥に関して	搬出時の性状						生	生	—	生、脱水、消化、焼却灰など (搬出が無い場合は汚泥処理後)	
	汚泥搬出先						田川郡	田川郡東部環	—	搬出先・企業名など	
	有効利用方法								—	セメント原料、建設資材、緑農地利用	
目標値(ベンチマーク) ※該当箇所○	①汚水処理人口普及率(%) 目標60.5						34.6	25.8	—	60.5	Ⅲ資料編P20
	②水洗化率(%) 目標〇〇						—	—	—		Ⅲ資料編P23,32
	③浄化槽整備区域内の浄化槽普及率(%) 目標60.5	—	—	—	—	—	34.6	25.8	—	60.5	Ⅲ資料編P37(個別処理区域内の普及率)準用
	その他(市町村各自で)										
概算事業費	建設事業費(新設) (百万円)						1246.4			1246.4	
	建設事業費(改築) (百万円)									0.0	
	総建設事業費 (百万円)						1246.4			1246.4	
	年間維持管理費(百万円/年)									0.0	
実行メニュー (該当事業に○を記入)	浄化槽設置整備事業の実施						○			—	
	合併処理浄化槽への転換啓発						○			—	
	単独処理浄化槽からの転換補助						○			—	
									—	
									—	

川崎町構想図

新旧対象図



凡 例	

凡例	
白地	合併浄化槽
ピンク	浄化槽市町村整備推進事業

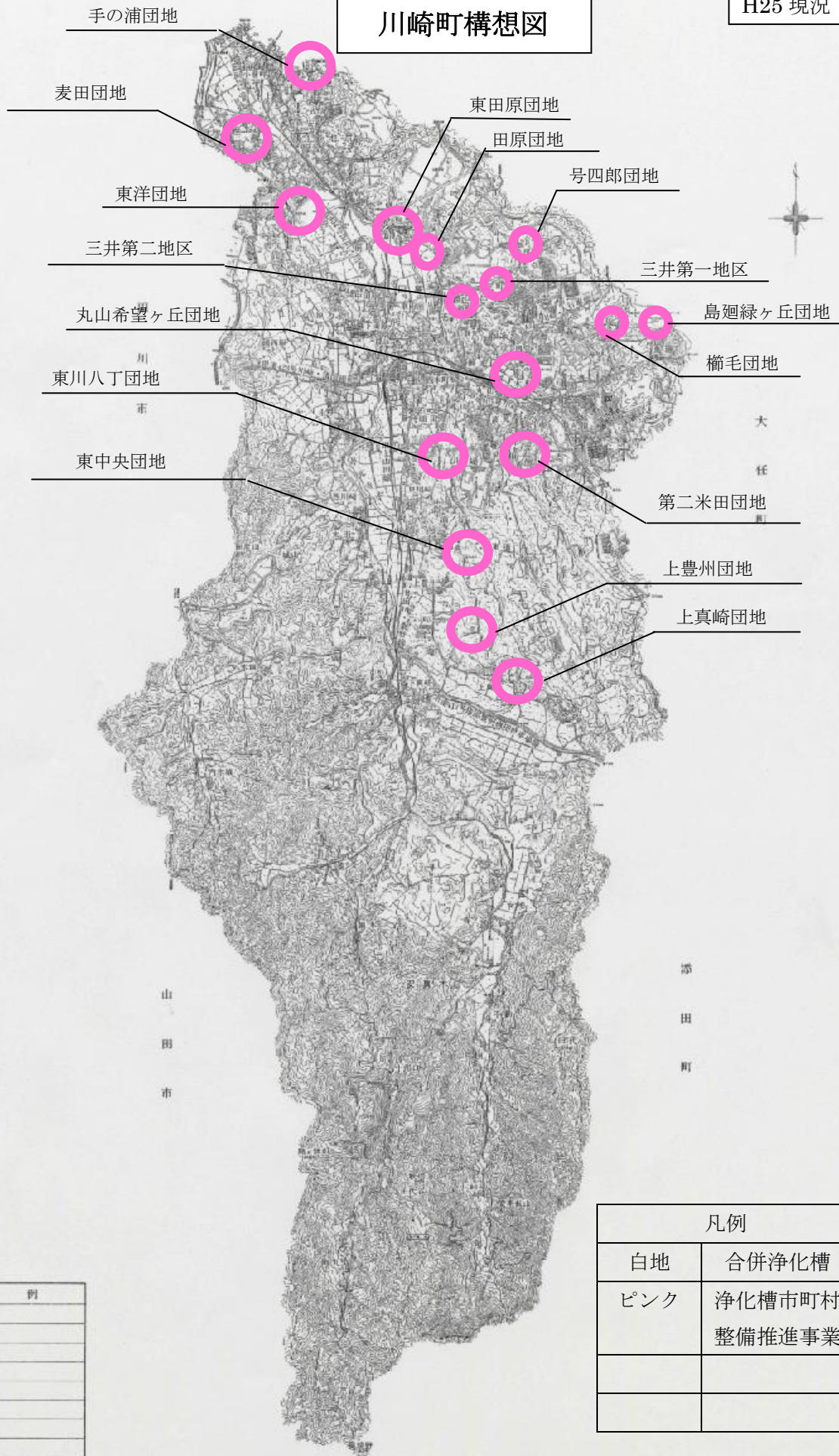
嘉 穂 町

1 : 25,000

2023年度版 1 : 25,000 縮小したものを掲載。

川崎町構想図

H25 現況



凡 例	

凡例	
白地	合併浄化槽
ピンク	浄化槽市町村 整備推進事業

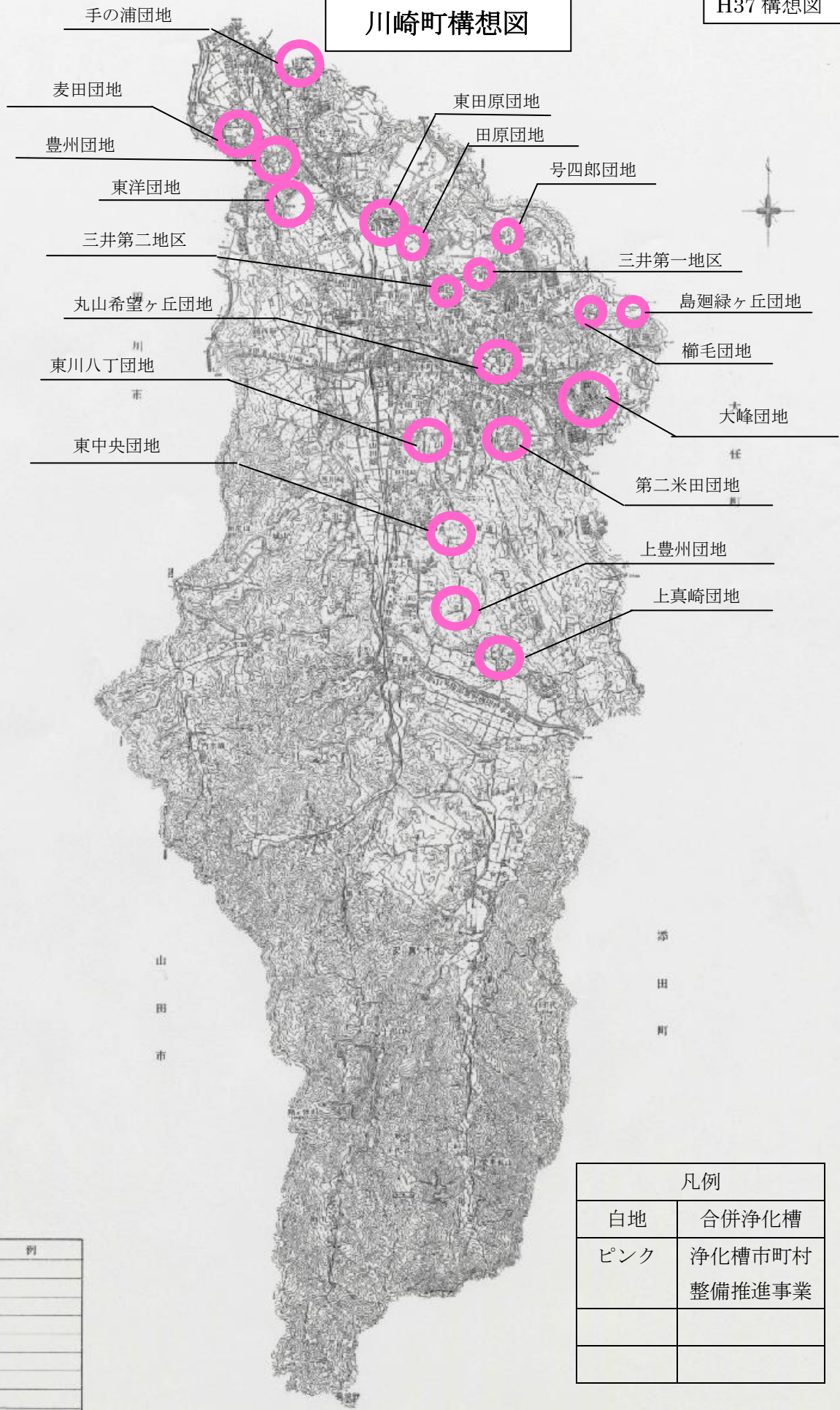
嘉 穂 町

1 : 25,000

この図面は 1 : 25,000 の縮尺で作成されたものである。

川崎町構想図

H37 構想図



凡 例	

凡例	
白地	合併浄化槽
ピンク	浄化槽市町村整備推進事業

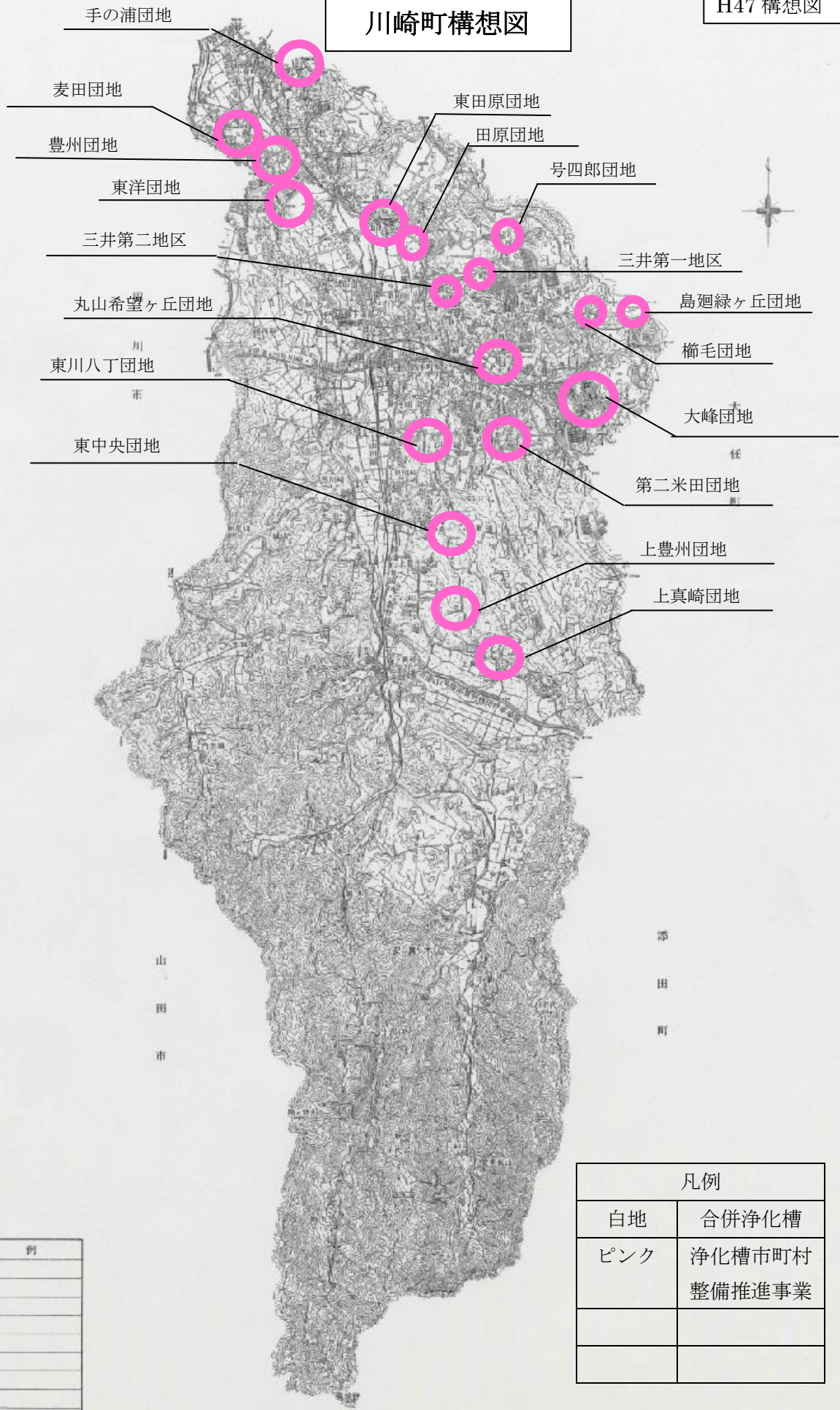
嘉 穂 町

1 : 25,000

この図面は 1 : 25,000 の縮尺で作成されたものである。

川崎町構想図

H47 構想図



凡 例	

凡例	
白地	合併浄化槽
ピンク	浄化槽市町村 整備推進事業

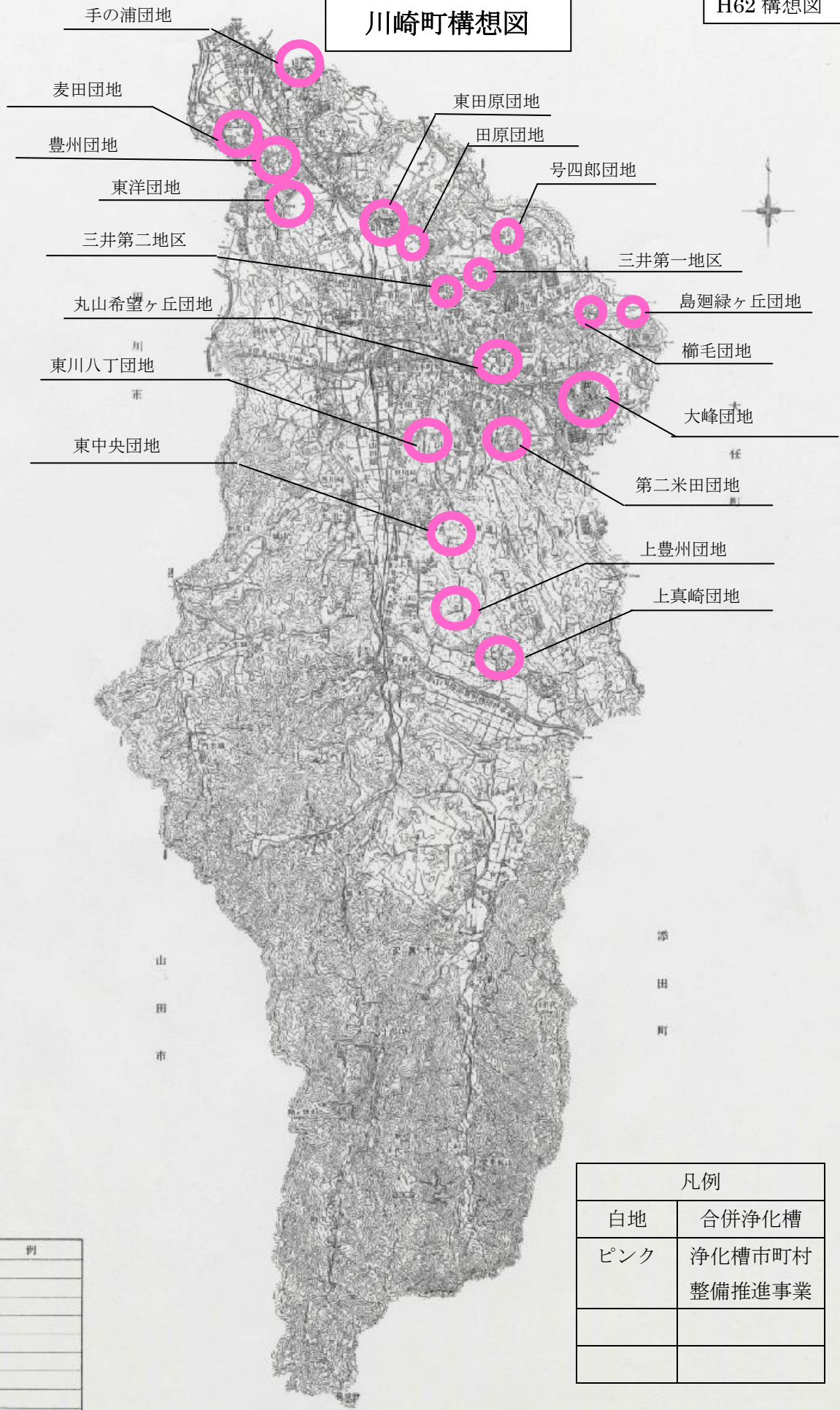
嘉 穂 町

1 : 25,000

この図面は 1 : 25,000 の縮尺で作成されたものである。

川崎町構想図

H62 構想図



凡 例	

凡例	
白地	合併浄化槽
ピンク	浄化槽市町村 整備推進事業

嘉 穂 町 1 : 25,000

環境保全課窓口にて皆様からのご意見を受け付けております。
方針やスケジュールに対するご意向をお聞かせ下さい。

◆問い合わせ先

環境保全課 72-3000 (内 220)